



## 奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 24



### ご挨拶

教授 緒方奈保子

皆様いかがお過ごしでしょうか？

相変わらず COVID-19 の報道は毎日あり、そろそろ第8波がやってくるようです（いまこの原稿を書いている現時点では。）。街の人出はコロナ禍以前と変わらなくなってますし、入国制限も解除され、街には海外からの観光客も目立ってきました（人がいっぱいで見えない浅草、ウクライナとロシアの戦争も続いていますし、平和な日々をお願いいたしました。）。ただ、日本人はマスク着用を律儀に守ってますよねー。

そろそろ海外の学会に参加する人も増えてきました。しかし、この円安！ではちょっとためらいます。そもそも、日本ではここ何十年賃金が上がって無い、とのこと。

これはあんまりだと思います！物価の上昇に賃金が追いつかず、税金だけが上がっていく。昔に言われた「高度成長」という言葉は古典語辞典に掲載されるのでは無いかしら。

リモート参加の会議や学会、勉強会にも随分慣れてきましたし、それなりに便利で、オンデマンド配信は何度も繰り返して聴講でき助かってますが、リアルの良さは捨てがたいものがあります。しかしながらコロナ禍以降に入局した若手医師にとっては、学会は事前に発表スライドを登録し、リモートで参加するのが当たり前になってしまい、現地に行って参加、発表、聴講する、という概念がそもそもありません。これってどうかなー、とちょっと考えさせられます。

まあ、色々ありましたが、来年は良い年になりますように！

追伸：来年 2023 年 7 月 22 日（土曜）～23 日（日曜）眼循環学会が奈良県コンベンションセンター（奈良市）で開催されます。皆様ぜひご参加いただけますようお願いいたします。予算の関係上、現地開催のみの予定です。コメディカルのための教育セミナーも充実しておりますので、スタッフさんにもぜひご参加をお勧めください！



## 講演会

### 第22回奈良県眼科万葉フォーラム

2022年9月10日に、THE KASHIHARAにて行われました。  
まず、前眼部疾患として大阪大学大学院医学系研究科 視覚先端医学 寄附講座准教授 高 静花先生に『涙ゆかりの万葉の地でドライアイスキルアップ』についてお話していただきました。  
後眼部疾患として、高知大学医学部眼科学講座 教授 山城 健児先生に『加齢黄斑変性診療の新常識』について伺いました。臨床から研究まで幅広くお話をして頂き、大変勉強になりました。



(写真：座長と演者の記念写真 左上 緒方教授、右上 上田准教授  
左下 高静花先生、右下 山城 健児先生)

### 第9回奈良県眼科まほろばフォーラム

2022年8月25日に、ハイブリッド開催にて第9回奈良県眼科まほろばフォーラムが開催されました。

横浜市立大学の柳靖雄先生には、講演Ⅰ『滲出型加齢黄斑変性治療 診断のポイントと病型別の治療戦略』と題して、滲出型の加齢黄斑変性の診断から治療のポイントについてわかりやすく教えていただきました。慶応義塾大学の根岸一乃先生には、講演Ⅱ『老視診療アップデート～診断・保存的治療から多焦点眼内レンズまで～』と題して、これから急激に増えていくであろう老視診療について教えていただきました。自分の身にもこれから役立つと思います。



### RETINA フォーラム in Teams

2022年9月24日に、Teamsによりオンライン開催されました。『Better Fluid Controlを Better Vision につなげる 糖尿病黄斑浮腫治療』と題しまして、信州大学医学部 眼科学教室 教授 村田 敏規 先生に講演をして頂きました。現在、多数の選択肢がある抗 VEGF 阻害剤の中から、それぞれのストロングポイント・ウィークポイントをわかりやすく説明していただきました。ありがとうございました。



(写真：左 緒方教授、右 村田敏規先生)

## 異動の御挨拶

藤原先生が大学に異動されましたので挨拶をしていただきます。

### 藤原 克彦（ふじわら かつひこ）

2022年10月に大和郡山病院から奈良県立医科大学附属病院に異動することになりました。令和2年10月に大学から大和郡山病院に異動してから、2年ぶりの大学です。まずは久しぶりの当直に慣れるのが課題です。前病院で学んだことを生かしつつ、さらに外来、手術ともに成長できるように精進していきたいと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 学会の報告

西山先生、沢田先生、名和先生が日本臨床眼科学会に、岡部先生が糖尿病眼学会に、森本先生が神経眼科学会に参加されましたので報告させていただきます。

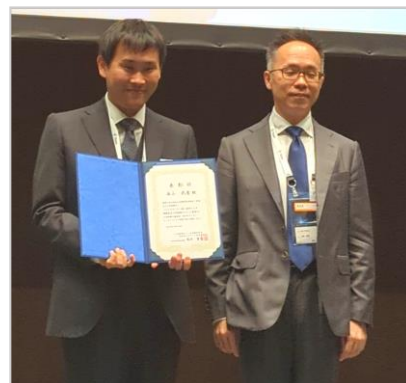
### 第76回日本臨床眼科学会のご報告

#### 西山 武孝（済生会中和病院 眼科）

日本臨床眼科学会にて、日本眼科学会で学術展示賞を頂きましたので、受賞講演をさせて頂きました。

現在大学院で研究中のテーマに関して、現地での発表を行いました。実際に現地で口演の発表をするのが初めてで、非常に緊張しましたが、とても良い経験ができました。他の先生方の発表も興味深い内容が多く、これからの大学院での研究活動により刺激になりました。

日頃より御指導頂いております緒方教授、辻中先生に心より感謝申し上げます。



#### 沢田 敦（奈良県立医科大学 眼科）

第76回日本臨床眼科学会にて、purpureocillium lilacinumによる真菌性角膜炎にポリコナゾール点眼とナタマイシン点眼の併用が著効した一例について発表させて頂きました。現地参加させて頂き、実際にたくさんの興味深い講演を聞くことができました。また、アイバンクに関するセミナーに参加しました。角膜切片の作成などについて教えて頂く機会を得ることができ、大変勉強になりました。次の眼球摘出は必ず僕が出動して、見事な角膜切片を作ることをお約束いたします！！（神宮球場は非常に良いところですね。八木駅まで走って特急に飛び乗った甲斐がありました。）





## 名和 賢斗 (奈良県立医科大学 眼科)

第76回日本臨床眼科学会にて、瞳孔記録計が診断に有用であった抗MOG抗体陽性の小児視神経周囲炎の一例について発表をさせていただきました。今回はWebでの発表となり通常のポスター発表とは異なりました。初めての発表で、今後の臨床へ役に立つ経験ができました。ご指導くださった緒方教授、西先生、小児科の榊原先生に心から感謝申し上げます。

## 岡部 直子 (奈良県立医科大学 眼科)

第28回日本糖尿病眼学会にて、糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF治療の離脱可能症例の検討について発表させていただきました。久しぶりの現地での口演での発表でしたので緊張しましたが、多くの質問を頂き大変勉強になりました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。今後とも研鑽していきたいと思えます。

(オフレコですが、ある医学情報誌から取材のお話をいただきました。現在打ち合わせ中です。掲載されましたら、またご報告させていただきます！)



(写真：久しぶりの口演で緊張する筆者)

## 森本 佑 (奈良県立医科大学 眼科)

第60回日本神経眼科学会にて、HTLV-1関連脊髄症との鑑別を要した抗AQP4抗体陽性視神経脊髄炎の一例について発表させていただきました。Webと現地でのハイブリッド開催でしたので、Webでの発表を行いました。もちろん倉敷は魅力的でしたが・・・他の口演もWebで見ることができ、大変勉強になりました。今回の経験を今後の臨床に役立てていきたいと思えます。

## 2021年度バイエル レチナ・アワード受賞式風景

## 吉川 匡宣 (よしかわ眼科クリニック 院長)



## 論文掲載

西先生、平井先生の論文がアクセプトされましたので、ご報告頂きます。

西 智 (奈良県立医科大学 眼科)

### **Effect of foveal morphology on visual acuity in 4-6-year-old children with retinopathy of prematurity: a J-CREST study.**

Nishi T, Ueda T, Mizusawa Y, Shinomiya K, Mitamura Y, Kimura N, Gomi F, Miki A, Nakamura M, Kinoshita T, Obata S, Ohji M, Tsuji T, Yoshida S, Ogata N.

Sci Rep. 2022 Sep 30;12(1):16431. doi: 10.1038/s41598-022-20956-4.

未熟児網膜症に対して網膜光凝固術を施行した症例の網膜構造を、自然軽快した未熟児網膜症症例と健常例と比較検討した論文です。J-CREST group に協力頂き、多施設研究を行うことができました。4～6歳の未熟児網膜症 (ROP) の既往をもつ74例を対象としました。そのうち41例がROPに対して網膜光凝固術を施行されました。これらの患者の臨床所見と網膜形態は、ROPが自然軽快した33例の患者および年齢をマッチさせた30例の健常例の対照群と比較された。ROP患者は全員、20/40以上の最高矯正視力を有していましたが、網膜光凝固術を受けたROP眼は、自然消退したROP眼および対照眼に比べ、中心窩網膜厚の厚さが有意に厚いことがわかりました。網膜光凝固術を施行したROP眼では、外顆粒層 (ONL) が有意に厚く、視細胞内節 (IS) と網膜内層が対照眼に比べ有意に厚いことが示されました。ROP患者および対照群では、良好な矯正視力は深い黄斑陥凹と成熟した出生週数と正の相関がありました。我々の研究から、児の未熟性と網膜光凝固術が、網膜厚と矯正視力に影響を与えることが示唆されました。

平井 宏昌 (南奈良総合医療センター 眼科)

### **Alteration of plasma von Willebrand factor in the treatment of retinal vein occlusion with cystoid macular edema.**

Hiomasa Hirai, Mariko Yamashita, Masanori Matsumoto, Takeyuki Nishiyama, Daishi Wada, Naoko Okabe, Yutaro Mizusawa, Hironobu Jimura, Tetsuo Ueda, Nahoko Ogata.

PLoS One. 2022 Sep 22;17(9):e0264809. doi: 10.1371/journal.pone.0264809. eCollection 2022.

網膜静脈閉塞症 (RVO) は、静脈血栓症に起因する網膜の主要な疾患であり、静脈血栓症と von Willebrand factor (VWF) の関連はいくつかの研究で提唱されていますが、RVOとVWFの関連はまだ不明です。本研究は、RVOとVWFの関連、および抗血管内皮増殖因子 (VEGF) 治療下でのVWFレベルの変化について調べることを目的とし、VWFの測定が疾患活動性の評価と予後の評価に有用であることが示唆されました。

学位のAMD論文と並行して執筆していた論文で、まとめるのに少し難渋したため、投稿途中で大学から南奈良総合医療センターへ異動となりましたが、緒方教授、輸血部の松本教授のご指導、諸先生方のご助力を頂き無事に形にすることができました。この場をお借りしまして深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 夏の奈良県立医科大学眼科勉強会



2022年7月24日(日)に日航奈良ホテルにて奈良県立医科大学眼科勉強会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症により残念ながら懇親会は開催できませんでしたが、久しぶりに集合写真を撮影することが出来ました。

### 【学位授与報告】

「Analysis focusing on plasma von Willebrand factor in pachychoroid neovascularopathy and age-related macular degeneration. 」  
南奈良総合医療センター 眼科 平井宏昌 先生

### 【一般口演】

「網膜前膜術後の黄斑円孔」  
奈良県立医科大学 眼科学教室 医員 和田大史 先生

「網膜細動脈瘤破裂による黄斑下血腫移動術」  
社会医療法人きつこう会多根記念眼科病院 院長 櫻井寿也 先生

「自覚屈折検査について」  
名和眼科 院長 名和良晃 先生

### 【特別講演】

「再考！加齢黄斑変性診療」  
東京女子医科大学 眼科 教授・講座主任 飯田知弘 先生

## 今後の予定

2023年5月27日(土) 第7回NORSの会 大阪マリオット都ホテル

2023年6月3日(土) 第23回奈良県眼科万葉フォーラム

2023年7月2日(日) 奈良県立医科大学眼科勉強会 シェラトン都ホテル大阪

日本各地のご高名な先生方をお招きし、最新の知見を得る絶好の機会です。

医師はもちろん、医学部生・研修医・ORTの皆様の参加を心よりお待ちしております。

詳しくは、教室ホームページをご覧ください。

開催形式は急遽変更になる場合等ございますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。



## 第39回日本眼循環学会のご案内

現在、当教室主催の第39回日本眼循環学会に向けて、奈良県眼科医会会長の平井宏明先生ならびに関連病院・企業の皆様のご協力を得ながら、鋭意準備を進めております。

下記にプログラムの一部をご紹介します。特に特別講演のK. Bailey Freund先生は遙かニューヨークからお招きいたしました、会長肝いりの講演ですので皆様必聴です！

また、コ・メディカルのための教育セミナーは、「明日から役立つ！」を目標にプログラムを策定いたしましたので、ぜひ視能訓練士の皆様も奮ってご参加ください。

### 【招待講演】

How Understanding the Histologic Basis of Retinal Imaging Findings in AMD Can Improve Current and Future Patient Outcomes

演者：K. Bailey Freund 先生（Vitreous Retina Macula Consultants of New York）

### 【シンポジウム】

シンポジウム 1 「パキコロイド」

オーガナイザー 飯田 知弘 先生（女子医大）

石田 晋 先生（北海道大）

五味 文 先生（兵庫医大）

シンポジウム 2 「緑内障眼循環研究のカッティングエッジ」

オーガナイザー 中澤 徹 先生（東北大）

吉川 匡宣 先生（奈良県医大／よしかわ眼科クリニック）



### 【コ・メディカルのための教育セミナー】

オーガナイザー 上田 哲生 先生（奈良県医大）

村上 智昭 先生（京都大）

会 期：2023年7月22日（土）～23日（日）

会 場：奈良県コンベンションセンター

〒630-8013 奈良市三条大路一丁目 691-1

TEL: 0742-32-2290

会 長：緒方 奈保子（奈良県立医科大学眼科学教室 教授）

副会長：平井 宏明（奈良県眼科医会 会長）

主 催：奈良県立医科大学眼科学教室

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840

事務局：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

事業共創部 コンベンション第二事業局内

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町 2-1-25 JTBビル 8階



## 外来診察表

		月	火	水	木	金
1診	午前	西	上田		緒方	手術日
	午後	小児・神経眼科外来	網膜硝子体外来	吉川 緑内障外来 ※予約のみ	網膜硝子体外来	専門外来
2診	午前	後岡	大熊 (第1・3) 小児・黄斑外来	手術日	小林 (第1・3・5)	手術日
	午後	網膜硝子体外来	中尾 (第2・4・5)	専門外来	峯 (第2・4)	専門外来
3診	午前	宮田	治村	手術日	辻中	手術日
	午後	緑内障外来	網膜硝子体外来	専門外来	角膜外来	専門外来
4診	午前	竹内	岡部	手術日	治村 (第2・4・5)	手術日
	午後	網膜・ぶどう膜外来	岡部	専門外来	網膜硝子体外来	専門外来
5診	午前	藤原	倉岡	手術日	竹内	手術日
	午後	緑内障外来	倉岡	専門外来	網膜・ぶどう膜外来	専門外来
6診	午前	倉岡	萬代		寺田	
	午後	倉岡	萬代		寺田	

- ・専門外来は完全予約制です。
- ・初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。
- ・地域連携の予約は月が6名、火・木が8名、水・金は5名可能となっております。

## 編集後記

平素は奈良県立医科大学眼科学教室の運営にお力添え頂き、誠に有難うございます。ニュースレターは、今回で24回目の発行となりました。ニュースレターでは引き続き、同窓会の諸先生方からのご投稿をお待ちしております。先生が日頃感じておられることや、趣味のお話など、どのような内容でも結構です。ご投稿、ご質問などは下記メールアドレスまでよろしくお願い致します。



tomon@naramed-u.ac.jp 奈良県立医科大学 眼科 西 智